

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
分担研究報告書

総合的な思春期・若年成人（AYA）世代のがん対策のあり方に関する研究

「AYA世代がん患者の妊孕性温存の教育・啓発に関する研究」

研究分担者 木村文則 滋賀医科大学産科学婦人科学 准教授

研究要旨： AYA 世代がん患者の妊孕性温存の教育・啓発を行うための資料作成を目的として、前年度に収集した医療者のアンケートならびに教育・啓発を行うための既存のコンテンツを確認し、がん・生殖医療に関する患者説明用の映像と患者説明用のイラストを作成し、日本がん・生殖医療学会のホームページ上から自由に視聴あるいはダウンロードできるようにする。平成 30 年 4 月にこれらが可能となる予定である。

A．研究目的

AYA世代がん患者の妊孕性温存の教育・啓発を行うためのシステム構築および資料作成を本研究の長期的な目的として活動して来た。平成27年度は、情報提供型がん・生殖医療ネットワークである滋賀がん・生殖医療ネットワークを立ち上げた。平成28年度は、滋賀県内のがん治療13施設で同一のスライドを用いがん・生殖医療に関する研修会を実施し、研修会実施後に医療者に対してアンケートを実施することにより研修の内容につき参加者の理解の程度につき調査を行い、問題を抽出した。また、がん・生殖医療に関し患者への情報提供を行う際に用いる資料について同様にアンケートを行った。さらに同年は、日本国内初となるがん患者への妊孕性温存治療に対し助成するシステムを滋賀県とともに構築した。平成29年度の研究目的は、前年度の研究結果をもとにして既存の教育・啓発を行うためのツールを勘案し、患者説明用映像と患者説明用イラスト集の作成することとした。

B．研究方法

既存の患者説明用ツールの内容を検証し、不足しているものを作成することとした。なお、本研究は、下記の多くの研究協力者の協力によりなされた。亀田総合病院生殖医療科川井清考、滋賀医科大学総合外科学講座目片英治、腫瘍センター河合由紀、田崎亜希子、尾崎由佳、木村由梨、外科学講座消化器・乳腺一般外科清水智治、内科学講座消化器・血液内科木藤克之、園田文乃、産科学婦人科学講座竹林明枝、小児科学講座丸尾良浩、多賀 崇、佐藤知実、泌尿器科成田充弘、富田圭司、整形外科児玉成人、脳神経外科深見忠輝、薬剤部金本賢枝、須藤正朝、京都第一赤十字病院乳腺外科系井尚子、済生会滋賀県病院産婦人科中川哲也、東近江医療センター産婦人科郭 翔志。

C．研究結果

映像作成について
現在までに患者および医療者の啓発・教育に製作

された映像コンテンツとして、平成27年度「総合的な思春期・若年成人（AYA）世代のがん対策のあり方に関する研究」、日本がん・生殖医療学会、滋賀がん・生殖医療ネットワークで製作した「OF-Net がん・生殖医療ネットワーク説明用画像」と日本がん・生殖医療学会、亀田総合病院で作成された「がん治療をはじめる前に」がある。前者はパワーポイントに音声を入力し、がん・生殖医療に関し必要と考えられる情報を提供している。また、この中で滋賀のがん・生殖医療ネットワークシステムの説明を行っている。一方、後者は、がん・生殖医療に関するイラストの説明も行っているが、実写をふんだんに盛り込んで治療がよりイメージしやすくなっていった。しかしながら、治療施設に関する情報提供を行っていない。以上より治療をイメージしやすい実写画像を採用することとしたが、経済的効率性も考え、既存の「がん治療をはじめる前に」に治療施設に関する情報を追加し、改訂することとした。4月より日本がん・生殖医療学会のホームページならびにyou tubeにて自由に閲覧できることとなる。

患者説明用イラスト集

現在までに患者および医療者の啓発・教育に製作された出版物、リーフレットとしてがん・生殖医療研究会（現在学会）監修「がん・生殖医療 妊孕性温存の診療」（2013年 医師薬出版株式会社）、日本癌治療学会編「小児・思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン」（2017年金原出版株式会社）、日本がん・生殖医療学会編「乳がん患者の妊娠・出産と生殖医療に関する診療の手引き 2017年版」（2017年金原出版株式会社）、平成28年度厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）「小児・若年がん長期生存者に対する妊孕性のエビデンスと生殖医療ネットワーク構築に関する研究」班編「がん治療を開始するにあたって 開始するにあたって <抗がん剤編>」、同がん専門相談員向け手引き「がんと妊娠の相談窓口」、平成27年度厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）「小児・若年がん長期生存者に対する妊孕性のエビデンスと生殖医療ネットワーク構築に関する研

究」班および平成27年度科学研究助成事業基盤研究C「若年乳癌患者の女性を支援する患者ナビゲーションシステムの導入と実証研究」作成のパンフレット「乳がん治療にあたり 将来の出産をご希望の患者さんへ」がある。これらはすべて医療者あるいは患者が読むことにより情報を得るツールであった。また、昨年度の本分担研究で医療者が患者説明用のツールの作成を望む意見が多かったことより、医療者から患者の説明に用いるイラストの作成を行うこととした。

D. 考察

現在までの製作されてきた患者および医療者の教育、啓発用の出版物、リーフレットなどを検証し、不足していると考えられる患者説明用映像と患者説明用イラスト集を作成した。

E. 結論

がん・生殖医療に関する患者説明用の映像と患者説明用のイラストを作成し、日本がん・生殖医療学会のホームページ上から自由に視聴あるいはダウンロードできるようにした。平成30年4月にこれらが可能となる予定である。

F. 健康危険情報

特に認めなかった。

G. 研究発表

1. 論文発表

Zheng L, **Kimura F**, Wu D, Morimune A, Niwa Y, Mita S, Takahashi K, Murakami T. Dienogest suppresses the activation of primordial follicles and preserves the primordial follicle stockpile for fertility in mice. Reproductive BioMedicine Online. Epub ahead of print

Takashima A, **Kimura F**, Kishida K, Izuno M, Hirata K, Takebayashi A, Amano T, Tsuji S, Kaku S, Ono T, Takahashi K, Murakami T. Comparison of embryo development and pregnancy rates in continuous single and sequential media cultures of sibling embryos. Journal of Advanced Medical Sciences and Applied Technologies. 2017;3:147-154.

木村文則. 卵巣組織凍結・自家移植とは？適応およびメリット・デメリットは？がん・生殖医療ハンドブック メディカ出版. 2017:198-204.

木村文則. 配偶子・胚の凍結保存法 D. 卵巣の凍結保存法. 図説よくわかる臨床不妊症学【生殖補助医療編】中外医学社 2017:295 - 296

木村文則. がん妊孕とメンタルヘルス. 女性心身医学. 2017;21:253-257

木村文則, 村上 節. 子宮頸部異型上皮・子宮内膜増殖症を見つけたら 一般病院でもできる！「子

供が欲しい」女性のためのプライマリ・ケア. 産婦人科の実践. 2017;66:1111-1119.

花田哲郎, **木村文則**, 村上 節. 卵巣組織凍結保存が原疾患の治療開始に及ぼす影響. 産婦人科の実践. 2017;66:217-222.

木村文則. 総論総説 小児, 思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン. 日本癌治療学会編 2017年版. 10-21.

末延聡一, 副島俊典, 宮地充, 三善陽子, 米田光宏, **木村文則**, 堀江昭史, 岡田 弘, 永尾光一, 細井創. CQ1. どのような小児がん患者が妊孕性温存療法の適応となるか？小児, 思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン. 日本癌治療学会編 2017年版. 97 - 103.

副島俊典, 末延聡一, 宮地充, 三善陽子, 米田光宏, **木村文則**, 堀江昭史, 岡田 弘, 永尾光一, 細井創. CQ2. 小児がん患者の妊孕性温存療法にはどのような方法があるか？小児, 思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン. 日本癌治療学会編 2017年. 104-106.

宮地充, 末延聡一, 副島俊典, 三善陽子, 米田光宏, **木村文則**, 堀江昭史, 岡田 弘, 永尾光一, 細井創. CQ3. 妊孕性温存療法のために, 小児がん治療を調整することは可能か？小児, 思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン. 日本癌治療学会編 2017年. 107-109.

三善陽子, 末延聡一, 副島俊典, 宮地充, 米田光宏, **木村文則**, 堀江昭史, 岡田 弘, 永尾光一, 細井創. CQ4. 小児がん患者の治療後の妊娠・分娩について, どのような情報を提供すべきか？小児, 思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン. 日本癌治療学会編 2017年. 110-112.

木村文則. 乳癌患者の妊孕性温存に関する経済的負担. 乳がん患者の妊娠・出産と生殖医療に関する診療の手引き 日本がん・生殖医療学会編 2017年版. 23 - 26.

2. 学会発表

木村文則. 講演 がん・生殖医療地域ネットワークの構築に関して 広島がん生殖医療ネットワークキックオフミーティング 平成29年5月20日 広島市

木村文則. 教育講演 がん・生殖医療の現状 第30回きたの産婦人科セミナー平成29年9月2日 大阪市

木村文則. 講演 がん患者の妊孕性温存 ~ 滋賀県の取り組みと実践 ~ 滋賀県がん診療セミナー 平成29年9月21日 守山市

木村文則. セミナー 小児がん治療と妊孕性、妊孕性温存について 日本小児血液・がん学会セミナー 平成29年9月24日 東京

木村文則、シンポジウム AYA 世代の総合がん対策(堀部班)での妊孕性に関する研究報告 公的支援、資料の活用 JSFP-Oncofertility Consortium JAPAN meeting 2017 平成 29 年 11 月 3 日 岐阜市

木村文則、滋賀がん・生殖医療ネットワーク構築と運営に関して 第 59 回 日本小児血液・がん学会学術集会 平成 29 年 11 月 10 日 松山市

木村文則、ワークショップ 地域がん・生殖医療ネットワークの実例

滋賀がん・生殖医療ネットワークについてー 平成 29 年年 11 月 11 日 徳島市

木村文則、市民公開講座 不妊症と不育症の診断と治療 第 1 回滋賀県不妊医療講演会・相談会 平成 29 年 11 月 25 日 大津市

木村文則 シンポジウム 妊孕性 思春期・若年成人(AYA)世代とがん医療従事者向けシンポジウム 厚生労働科学研究 総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究 平成 30 年 3 月 24 日 大阪市

Zheng luyi、**木村文則**、Di Wu、森宗愛菜、花田哲郎、平田貴美子、竹林明枝、高島明子、竹林明枝、三田静香、高橋健太郎、村上節 ジェノゲストの原始卵胞活性化抑制による卵巣予備能温存 第 35 回日本受精着床学会総会・学術講演会 平成 29 年 7 月 20 - 21 日 米子市

河合由紀、**木村文則**、森 毅、富田 香、北村美奈、梅田朋子、田崎亜希子、清水智治、谷 眞至、村上節。当院における若年乳癌患者の妊孕性温存の現況。第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会 2017 年 7 月 27-29 日 神戸市

木村文則、Luyi Zheng、森宗愛菜、堀川知紗子、岸田和美、伊津野美香、花田哲郎、竹林明枝、高島明子、高橋健太郎、村上 節 ジェノゲストの原始卵胞活性化に及ぼす影響 近畿エンドメトリオーシス研究会 平成 29 年 8 月 19 日 大阪市

花田哲郎、**木村文則**、森宗愛菜、竹林明枝、高島明子、村上節 OHSS に伴う大量腹水に対し腹水濾過濃縮再静注法(CART)が有用であった 1 例 第 137 回近畿産科婦人科学会学術集会 平成 29 年 10 月 29 日 和歌山

北村美奈、河合由紀、**木村文則**、富田 香、加藤久尚、坂井幸子、森 毅、梅田朋子、田崎亜希子、清水智治、村上 節、谷 眞至。当院における若年乳癌患者のかがん・生殖医療の現況と課題。第 55 回日本癌治療学会学術集会 2017 年 10 月 20-21 日 横浜市

木村文則、Luyi Zheng、森宗愛菜、花田哲郎、平田貴美子、竹林明枝、高島明子、高橋健太郎、三田静香、村上 節 ジェノゲストの原始卵胞活性化の抑制と卵巣予備能温存効果 第 62 回日本生殖医学会学術講演会 平成 29 年 11 月 16 日 17 日 山口市

Luyi Zheng、**木村文則**、森宗愛菜、丹羽陽子、花田哲郎、竹林明枝、高島明子、高橋健太郎、村上 節 ジェノゲストの原始卵胞活性化に与える影響 第 39 回日本エンドメトリオーシス学会。平成 30 年 1 月 27 - 28 日 京都市

田崎亜希子、木村由梨、**木村文則** 看護師による妊孕性温存に対するケアの現状第 8 回 日本がん・生殖医療学会学術集会。平成 30 年 2 月 11 日 東京

花田哲郎、**木村文則**、森宗愛菜、辻 祥子、竹林明枝、高島明子、村上 節 小児がんに対する卵巣組織凍結保存の臨床的検討 第 8 回 日本がん・生殖医療学会学術集会。平成 30 年 2 月 11 日 東京

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得 なし。
2. 実用新案登録 なし。
3. その他 なし。